

有磨学区まちづくり推進委員会

委員長 神野博文

（問合せ先） 084-958-3849（有磨公民館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

- (1) 魅力ある地域づくり事業
日本の歴史を学ぶ：赤穂市 浅野家菩提寺「花岳寺」「大石神社」
（5月26日）
人権パネル展：「広島のと砂災害を未来に伝える」
～安芸郡坂町 平成30年7月豪雨災害～
（10月26日～10月31日）
- (2) いきいきふれあい交流事業
そとまちロードウォーキング
（5月26日）赤穂城跡・大石神社周辺
- (3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業
環境美化活動（5月12日）杵磨カヤ周辺
自主防災訓練：全市一斉防災訓練
（11月24日）
環境ポスター作成・学区内掲示（2月）
学区内ごみステーション
- (4) つなぐ心・人・地域交流事業
ふれあい祭り（10月26日～27日）
- (5) 広報紙発行事業（年2回）
- (6) コミュニティ育成事業
地域一斉清掃・地域交流行事など（通年）
- (7) まちづくり推進委員会運営事業（通年）
* 善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰
* 選挙啓発
- (8) 地域まちづくり計画に基づく事業



👉 花岳寺



👉 ウォーキング



👉 カヤ周辺清掃



👉 自主防災訓練

👉 ふれあい祭



成果

協働のまちづくりの推進に向け、各事業をとおして各種団体や地域住民による自主的・主体的な活動が少しずつできるようになり、地域の活性化を図るための意識が高まった。

課題

地域課題の解決に向けて、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の住民の参加を促進できるよう取り組む必要がある。

【地域まちづくり計画推進事業】を紹介します！

芦田大谷砂留整備事業

「郷土を愛し歴史や文化の学習推進事業」として、『芦田大谷砂留整備』を2017年度からはじめて3年目…今年度が最終年度となりました。最初の取組として、5月に現地研修を行い、昨年度からの課題と今年度の整備目標を確認しました。

2018年度は、7月の西日本を襲った豪雨により、芦田大谷砂留も甚大な被害を受けたため、マイナスからのスタートとなりました。2019年度は、自治会連合会や総務（人権・教育文化）部会、ボランティア“砂留守り隊”のご協力のもと、3番から5番砂留を中心に木々の伐採や片付け、砂留に繋がる側道の整備、看板の設置など…一歩一歩少しずつ、安全を十分に確認しながら作業をすすめていきました。

先人たちの豊かな経験と優れた知識・技術によって築造された『芦田大谷砂留』を守り続けるために…2020年度からも自治会連合会と生活安全・環境部会を中心に、引き続き整備作業を行っていく予定です。



↑ 整備作業の様子

安全第一！！
声かけあって
気を付けて！



↓ 5月の現地研修の様子



↓ 看板

